

No	施策名	事務事業の目的	H24決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成25年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成26年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1 担当部課名				
	事務事業名		H25決算額(円)	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価			
			内 直接事業費	4 有効性評価	5 効率性評価			
			内 人件費	1 極めて高い	2 高い			
1	交通基盤の整備	伊勢湾口道路をはじめとして、幹線道路等の渥美半島での必要性の認識を高め、地元・関係機関と相互に協力、調整をとりながら整備の早期実現を図る。	3,142,010	事務事業評価		・広域幹線道路の現状を把握するため、調査・研究としての研修会や現地視察を実施する。 ・関係市町、関係機関、市内関係部署との連携をより密にし、早期整備の促進を図る。	各種協議会・期成同盟会等により、国・県等に早期整備の要望を行った。	引き続き、各種協議会・期成同盟会等を通して国・県等に早期実現を目指す。
	40101010		564,362	1 都市建設部 土木課				
			2,577,648	2 大羽 剛志				
	広域幹線道路整備促進事業		5,389,217	3 極めて高い				
			598,223	4 高い				
		4,790,994	5 高い					
							改善の効果	普通
2	交通基盤の整備	市民生活や産業活動において重要な都市基盤である市内幹線道路の道路交通における利便性、安全性、快適性等の向上を図るため計画的な整備を行う。	171,714,885	事務事業評価		交通量が多く交通弱者安全確保が急務である1・2級市道において国庫補助を活用しながら集中的・計画的に道路改良を推進する必要がある。また、田原市健康都市プログラムの基本方針「街の健康」の基幹的事業として効果が期待されている。	5路線の整備路線のうち2路線について集中的に整備を行い供用を開始した。	継続3路線について集中的に整備を推進する。また、市内道路網の防災機能など有機的な連携を構築する幹線道路・補助幹線道路を計画的に整備推進する。
	40102010		151,694,614	1 都市建設部 土木課				
			20,020,271	2 大羽 剛志				
	幹線道路整備事業		317,184,703	3 極めて高い				
			302,089,911	4 極めて高い				
		15,094,792	5 極めて高い					
							改善の効果	高い
3	交通基盤の整備	安全で円滑な交通の確保を図るため、老朽化の著しい橋りょうの改修を行う。	46,463,113	事務事業評価		橋りょう点検を行い長寿命化を図るとともに、老朽の著しいものなど計画的に修繕する。	橋梁長寿命化計画を策定し、将来に亘る建設コストの縮小を図る。	橋梁更新にかかるコストを縮減するとともに、定期点検を実施し、橋梁の長寿命化を図る。
	40102020		36,635,925	1 都市建設部 土木課				
			9,827,188	2 大羽 剛志				
	橋りょう整備事業		37,492,379	3 極めて高い				
			32,256,460	4 極めて高い				
		5,235,919	5 高い					
							改善の効果	極めて高い
4	交通基盤の整備	愛知県が実施する公共事業に必要な事業用地の円滑な取得を図る。	16,784,416	事務事業評価		・事業用地の円滑な取得を図るため県と連携を密にし、交渉期間の短縮を図る。 ・県の用地取得予算を事業間で執行できるようにする。	事業間の調整等について、県と連携を密にして当初予算分の用地取得予算を執行できた。	事業用地の円滑な取得を図るため県との連携を更に密にし、交渉期間の短縮を図るとともに県の用地取得予算を事業間でスムーズに執行できるようにする。
	40102030		293,883	1 都市建設部 土木課				
			16,490,533	2 大羽 剛志				
	事業用地取得事務(国県道)		15,681,791	3 高い				
			346,359	4 普通				
		15,335,432	5 普通					
							改善の効果	普通
5	交通基盤の整備	安心・安全な生活環境の改善を図るため、地域からの要望をもとに、緊急性、事業効果等を考慮して必要性の高い生活道路から整備を行う。	237,472,296	事務事業評価		地域からの多くの改良要望需要に対し適切な評価に基づく計画的な対応が必要となっている。また、田原市健康都市プログラムの基本方針「街の健康」の基幹的事業として効果が期待されている。	元気臨時交付金を活用して事業推進を図り、予定以上の改良を実施した。また、建設コスト縮減のため既存計画工法を新たな手法で見直すなど改善に取組んだ。	地域からの要望の検証、事業採択評価を試行。地域バランスに配慮しながら緊急度及び必要性の高い路線への集中的な投資を計画し、事業期間短縮と効果の早期発現を図る。また、市内道路網の防災機能など有機的な連携を構築する生活道路を計画的に整備推進する。
	40103010		224,666,464	1 都市建設部 土木課				
			12,805,832	2 大羽 剛志				
	道路改良事業		219,005,615	3 極めて高い				
			197,564,537	4 極めて高い				
		21,441,078	5 普通					
							改善の効果	高い
6	交通基盤の整備	歩行者・自転車等利用者の安全確保、歩行者・自転車空間の快適性の向上及び円滑な自転車交通の確保を図るため、歩道設置等の交通安全施設整備を行う。	22,098,881	事務事業評価		・通学路歩道や交通事故発生箇所など危険箇所における緊急度が高いものから整備を進める。 ・平成24年度通学路緊急合同点検の危険箇所への対策など急務である。	交通事故多発交差点の改善対策について地域や警察署との密な連携で事業を推進し、予定を前倒しで問題解決を図った。	継続事業である愛知県通常補助(道路)適用事業について、事業費拡大を県にも要望しつつ集中投資により事業期間の大幅短縮と事業効果の早期発現を図る。また、その他要対策箇所改善を実現に向け推進する。
	40103020		17,285,820	1 都市建設部 土木課				
			4,813,061	2 大羽 剛志				
	交通安全施設整備事業		47,576,497	3 極めて高い				
			38,513,193	4 極めて高い				
		9,063,304	5 普通					
							改善の効果	極めて高い
7	交通基盤の整備	道路交通の安全確保及び快適性の向上を図るため、未舗装道路の舗装新設及び老朽化した道路の舗装改築を行う。	31,108,958	事務事業評価		舗装設計期間10年を大幅に超えた多くの昭和年代築造道路は、交通量にかかわらず経年劣化・老朽化が著しく、大幅な改修を必要とする路線が多くなっている。	国庫補助を活用して老朽化舗装改修を計画的に推進した。また、田原駅前通り線開通に合わせ、快適性を欠いた舗装を改修し、田原の顔づくりに貢献した。	交通量の多い1、2級市道の舗装点検結果に基づき、国庫補助を活用しながら要改修路線の計画的な整備を推進する。また、生活道路は、校区要望や職員パトロールなど快適性が損なわれていることが確認された路線の改修を推進する。
	40103030		27,991,950	1 都市建設部 土木課				
			3,117,008	2 大羽 剛志				
	道路舗装事業		39,642,162	3 高い				
			37,446,150	4 高い				
		2,196,012	5 高い					
							改善の効果	高い

No	施策名	事務事業の目的	H24決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成25年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成26年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3~5年程度をイメージ)	
	事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名	内 人件費	2	評価責任者氏名				H25決算額(円)
事務事業名				内 直接事業費	4	有効性評価						
				内 人件費	5	効率性評価						
8	交通基盤の整備	安心・安全な生活環境の改善を図るため、道路の排水改良等の局所的な整備を行う。	68,707,625	事務事業評価					排水施設の老朽化に伴う改修や沿道利用用途の経年変化に伴う改良など多くの要望が出され期待されている。なお、田原市健康都市プログラムの基本方針「街の健康」の基幹的業務としての効果も期待されている。	元気臨時交付金を活用したやぐま台団地内道路の老朽化側溝集中取替えなど安全性及び景観性を改善した。	地域からの要望の検証、事業採択評価を試行し、機能不良施設の改善や老朽化施設の改修など整備必要性を勘案し地域バランスに配慮した事業推進を図る。	
	40103040		60,003,300	1	都市建設部 土木課	8,704,325	2	大羽 剛志				
	道路局部改良事業		92,239,473	3	極めて高い	86,851,800	4	高い				
			5,387,673	5	普通			改善の効果				高い
9	交通基盤の整備	災害時の避難及び救急活動に支障をきたす恐れのある道路について、建物の建設時にセットバックした部分を取得して狭隘道路の解消を図る。	14,925,163	事務事業評価					平成25年度に要綱の見直しを行い、より迅速に対応できるような事務体制となったため、事務の効率性は上昇した。今後、より住民のニーズにそった形で対応できるよう、要綱的部分的な改正を含め検討していくことが必要と思われる。	測量、登記、道路整備を行う事業のため、複雑かつ大幅な時間が必要であったが、要綱の改正を行ったことにより、事務の効率化がなされた。	現在、住民が負担した測量、道路整備の費用を補助金で補填しているが、補助金額等の妥当性や、住民のニーズに沿った事業体制であるかの確認が必要と思われる。	
	40103050		9,009,232	1	都市建設部 土木課	5,915,931	2	大羽 剛志				
	狭隘道路解消事業		24,038,417	3	高い	16,257,455	4	高い				
			7,780,962	5	普通			改善の効果				高い
10	交通基盤の整備	公有地境界を整理することで行政の管理区域が明確となり、境界付近でのトラブルの解消を図る。	24,476,211	事務事業評価					公共用地と民地との境界を測量し、管理区域を明確化することにより、境界トラブルの解消を図ることを目的としているが、用地測量、登記等に多大な時間が必要である。	公共囁託への測量委託を行うことにより、事務の時間が短縮されたため、住民へ迅速な対応ができ、一定の成果が出ていると思われる。	トラブルを未然に防ぐことはもとより、境界トラブルの解消について、より迅速に対応できるような事務体制を検討していくことが必要と思われる。	
	40104010		7,228,970	1	都市建設部 土木課	17,247,241	2	大羽 剛志				
	公有地境界確認事務		15,816,991	3	高い	7,906,013	4	高い				
			7,910,978	5	普通			改善の効果				高い
11	交通基盤の整備	道路法において、市道の管理は市が行うと定められており、これに基づいて道路の良好な環境と安全確保に努める。	85,748,010	事務事業評価					・常時健全な道路環境を維持するため、道路法や道路構造令等の法令改正を課員に周知する。 ・老朽化している道路ストックの状況把握及び計画修繕の実施が課題である。	・法令改正等の課員周知により、常時健全な道路環境が維持できた。 ・道路ストックの総点検を実施し、要修繕箇所の把握ができた。	道路ストックの総点検実施及び道路維持修繕計画策定により、要修繕箇所の早期発見、早期対応に努め、健全な道路環境を維持する。	
	40104020		60,463,850	1	都市建設部 土木課	25,284,160	2	大羽 剛志				
	道路管理事務		89,478,042	3	極めて高い	68,192,706	4	高い				
			21,285,336	5	高い			改善の効果				高い
12	交通基盤の整備	公共用地の取得や売却等に伴う所有権移転登記等を行い適正な財産管理を図る。	12,664,073	事務事業評価					・登記申請に際して、法務局から詳細な資料提出を要求されるため、常日頃から法務局との連携を密にし、業務のスムーズな進捗に努める。また、専門的知識を要する案件、権利関係等に難題があるような案件については、委託の検討を要する。 ・年度末に登記申請が集中しないように各事業内容の把握に努める。	・知識や専門性の向上を図るため、積極的に研修に参加した。法務局との連絡を密にした結果、登記官との円滑な関係を築くことができ、スムーズな登記申請や補正の対応ができた。 ・各事業担当に早めの登記依頼をしたが、年度末に登記申請が集中してしまった。	法務局との連絡を更に密にし、業務のスムーズな進捗に努める。また、専門的知識を要する案件、権利関係等に難題があるような案件については、委託をすることで早期解決及び業務の円滑な進捗を図る。	
	40104030		934,399	1	都市建設部 土木課	11,729,674	2	大羽 剛志				
	登記事務		16,613,492	3	高い	67,819	4	普通				
			16,545,673	5	普通			改善の効果				普通
13	交通基盤の整備	市道及び公共用物(道路敷)の老朽化又は緊急を要する構造物の修繕及び主要幹線道路の草刈り等を実施し、交通の安全性・快適性の向上を図る。	117,981,798	事務事業評価					危険箇所の早期発見のため、道路パトロールを実施すると共に、効率的な修繕のため、関係課及び地元自治会等との連携を図る。	修繕箇所の早期発見のため、担当職員以外に雨天時に道路維持囁託員による道路パトロールを実施した。通勤等において、危険箇所が確認された場合の報告をワークボックスで職員に依頼した。職員・囁託員や地元自治会等からの情報により、危険箇所が早期に確認できた。	危険箇所の早期発見のため、道路パトロールを継続実施し、効率的な修繕のため、関係課及び地元自治会等との連携を図る。	
	40104040		83,579,430	1	都市建設部 維持管理課	34,402,368	2	大羽 清一				
	道路維持事業		117,502,473	3	高い	88,080,609	4	高い				
			29,421,864	5	普通			改善の効果				高い
14	交通基盤の整備	市道及び公共用物(道路敷)の老朽化又は緊急を要する構造物の修繕及び主要幹線道路の草刈り等を実施し、交通の安全性・快適性の向上を図る。	52,718,537	事務事業評価					危険箇所の早期発見のため、道路パトロールの強化が必要である。	危険箇所の早期発見のため、雨天時及び水曜日に囁託員による道路パトロールを実施した。	道路パトロールの強化及び危険箇所の効率的な修繕のため、関係課・自治会等との調整を図る。	
	40104060		35,183,101	1	渥美支所 地域課	17,535,436	2	鈴木 義治				
	道路維持事業(渥美支所)		47,820,258	3	高い	30,727,998	4	高い				
			17,092,260	5	普通			改善の効果				高い

No	施策名	事務事業の目的	H24決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成25年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成26年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1 担当部課名				
	事務事業名		H25決算額(円)	事務事業評価				
			内 直接事業費	4 有効性評価				
			内 人件費	5 効率性評価				
15	交通基盤の整備	渥美半島の重要な交通結節点としての機能を有する三河田原駅周辺において、駅舎移転に対する支援、自動車交通の円滑化を図るための道路整備、ガーデンシティに相応しい機能と景観を兼ね備えた駅前広場整備、駅南地区を始めとする周辺地域の住環境整備等を行い、魅力ある田原市の玄関口とする。	450,577,049	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度までに街路整備は完了、鉄道移設についても平成26年度に完了を予定している。 駅前広場の一部に未買収用地があり、整備が完了していない。 	工事の進捗により都市計画道路の供用開始、駅舎移転完了と新駅の供用開始、駅前広場の部分を供用開始することができたため、自動車交通の円滑化と駅の交通結節点機能の向上、駅周辺の利便性向上を図ることができた。	未買収用地の地権者との交渉を進め、4年を目処に用地買収と整備完了を目指す。
	40106030		428,275,654	1 都市建設部 街づくり推進課				
	田原駅周辺整備事業(40106010～40106040)		22,301,395	2 柴田 高宏				
			1,460,668,729	3 高い				
			1,434,812,526	4 極めて高い				
		25,856,203	5 高い			改善の効果	極めて高い	
16	交通基盤の整備	市営公共駐車場が便利かつ安全に利用できるように運営、維持管理し、コンパクトシティの実現、中心市街地の活性化に寄与するものとする。	24,440,092	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> 幅広い方に便利かつ安全に利用していただくため、田原市だけでなく、指定管理者によるPRが必要である。 田原駅南公共駐車場では、自動二輪利用者が増加してきたため、自動二輪置き場の拡張の検討が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 田原市だけでなく、指定管理者ホームページなどで公共駐車場をPRしたため、利用者が増加した。 田原駅南公共駐車場横に、仮設の自動二輪置き場を設ける調整を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者ホームページだけでなく、利用料金をお知らせする横断幕などを活用し、さらなる田原駅南公共駐車場の利用者の増加を目指す。 田原駅南公共駐車場の自動二輪置き場の拡張を検討し、設置する。
	40106050		18,390,124	1 都市建設部 街づくり推進課				
	公共駐車場管理運営事業		6,049,968	2 柴田 高宏				
			21,576,945	3 高い				
			18,463,742	4 高い				
		3,113,203	5 普通			改善の効果	高い	
17	公共交通の整備	都市機能として、集落部と市街地及び市街地内における市民等の移動手段を確保するため、路線バスの補完路線としてコミュニティバスを運行する。	100,293,287	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> 「第2次田原市地域公共交通戦略計画」(H26.6)に基づき、各公共交通の役割分担・連携の明確化を図り、本市公共交通ネットワークを再構築していく。 市街地・集落部の役割に応じた都市機能の整備や各種まちづくり施策と一体となった移動確保に取り組む必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ乗合交通(ぐるりんバス・地域乗合タクシー(八王子線))の路線変更を含めた市内公共交通ネットワーク全体の方向性について検討を行った。 新三河田原駅舎の供用開始に伴い、ぐるりんバスの一部ダイヤ見直しを行った。 	現行のぐるりんバスを、「コミュニティ乗合交通(ぐるりんバス、地域乗合タクシー)」と「市街地循環バス(政策交通)」に再編し、路線、ダイヤ、運賃設定等の見直しについて、地域コミュニティと市など関係者の協働により取り組み、地域ニーズに応じた移動を確保する。
	40201010		94,495,901	1 政策推進部 経営企画課				
	ぐるりんバス運行事業		5,797,386	2 鈴木 嘉弘				
			103,185,189	3 高い				
			97,501,090	4 高い				
		5,684,099	5 普通			改善の効果	高い	
18	公共交通の整備	市民等の移動手段を確保するため、市内公共交通の基幹路線である路線バス(伊良湖本線・支線)の運行を支援する。	24,481,010	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> 「第2次田原市地域公共交通戦略計画」(H26.6)に基づき、各公共交通の役割分担・連携の明確化を図り、本市公共交通ネットワークを再構築していく。 関係者により、さらなる利用促進策の展開の必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 路線バスを含め、市内公共交通ネットワーク全体の方向性及び利用促進策について検討を行った。 路線バス運行経費の補助を行い、路線の維持・確保を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 「第2次田原市地域公共交通戦略計画」に基づき「路線バス(幹線乗合交通)」を機軸とした本市公共交通ネットワークの再構築を図っていく。 利用環境の改善、利便性の向上、関係者による利用促進会議設置やさらなる利用促進策の展開により、幹線乗合交通の運行強化を図る。
	40201020		22,396,020	1 政策推進部 経営企画課				
	地方バス路線支援事業		2,084,990	2 鈴木 嘉弘				
			20,799,394	3 高い				
			19,635,160	4 高い				
		1,164,234	5 普通			改善の効果	高い	
19	公共交通の整備	だれもが安心して移動できるまちを実現するため、関係者との連携により、市内公共交通の充実を図る。	22,898,511	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> 「第2次田原市地域公共交通戦略計画」(H26.8)に基づき、各公共交通の役割分担・連携の明確化を図り、本市公共交通ネットワークを再構築していく。 公共交通の位置付けや必要性について、庁内各課を含め市民への周知及びさらなる利用促進策を展開する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 田原市地域公共交通会議及び田原市地域公共交通戦略計画等検討会において、「田原市地域公共交通戦略計画」改訂の協議を行った。 公共交通利用の周知を図った。 	田原市地域公共交通会議における協議・調整により、「第2次田原市地域公共交通戦略計画」に基づいた本市公共交通ネットワークの効果的・効率的な充実を図る。
	40201030		14,117,950	1 政策推進部 経営企画課				
	公共交通推進事業		8,780,561	2 鈴木 嘉弘				
			11,249,152	3 高い				
			2,023,128	4 高い				
		9,226,024	5 高い			改善の効果	高い	
20	港湾・河川・海岸の整備	泉港の維持管理を委託し、良好な港湾環境を保つとともに、緊急時の対応、トラブル防止等に努める。	2,644,710	事務事業評価		利用者が安心して安全な使用ができる港湾を目指し、適正な維持管理を行う。	草刈り、施設の清掃・巡視、漁船とプレジャーボート等の区分けを継続実施し、適正な維持管理を図った。	利用者が安心して安全な使用ができる港湾を目指し、適正な維持管理を行う。
	40301010		2,439,676	1 都市建設部 維持管理課				
	泉港管理事業		205,034	2 大羽 清一				
			2,643,052	3 普通				
			2,439,676	4 普通				
		203,376	5 普通			改善の効果	普通	
21	港湾・河川・海岸の整備	小型船舶係留施設の維持管理を委託し、係留施設の良い環境を保つとともに、緊急時の対応、トラブル防止等に努める。	597,778	事務事業評価		利用者が安心して安全な使用ができる施設を目指し、適正な維持管理を行う。	草刈り、施設の清掃・巡視を行い、施設の適正な維持管理を図った。	利用者が安心して安全な使用ができる施設を目指し、適正な維持管理を行う。
	40301020		392,744	1 都市建設部 維持管理課				
	小型船舶係留施設管理業務		205,034	2 大羽 清一				
			596,120	3 普通				
			392,744	4 普通				
		203,376	5 普通			改善の効果	普通	

No	施策名		H24決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成25年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成26年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード	事務事業名		内 直接事業費	1 担当部課名			
			H25決算額(円)					
			内 人件費	2 評価責任者氏名				
			内 直接事業費	4 有効性評価				
			内 人件費	5 効率性評価				
22	港湾・河川・海岸の整備	港湾は、市民と海との貴重な接点となっており、近年のマリンレジャー等に対するニーズの高まりから市民に親しまれる開かれた港湾施設の適正な管理を図る。	14,696,623	事務事業評価		定期的に港湾施設の状況を把握し、良好な施設管理を行う。また、港湾樋門操作マニュアルを活用し、委託者へ周知徹底するとともに、職員へも操作研修を行い、適切な管理体制、災害時に迅速な対応ができるよう努める。	港湾施設の良好な施設管理を行うことができた。また、樋門操作マニュアルを活用し、適切な管理体制、災害時に迅速な対応ができるよう努めた。	港湾維持修繕計画に基づき、老朽化した港湾施設の維持管理を行うとともに、港湾利用者が快適に施設を利用できるよう努める。また、樋門操作については引き続き、職員と委託者との連携を密にし、災害時に迅速な対応ができるよう努める。
	40301040		5,255,731	1	都市建設部 土木課			
			9,440,892	2	大羽 剛志			
	港湾管理事業		7,832,589	3	高い			
			1,366,621	4	高い			
		6,465,968	5	普通	改善の効果	高い		
23	港湾・河川・海岸の整備	伊良湖港周辺において、観光交流拠点及び海洋レクリエーション拠点を形成し、賑わい空間を創出することにより交流人口の拡大を図る。また、伊良湖港とその周辺に点在する観光施設等との連携・回遊性を強化し、伊良湖地区の集客力及び活力を取り戻すために必要な整備を行う。	25,863,119	事務事業評価		・愛知県と協働して進める伊良湖港利用者の滞在拠点となる緑地整備が概ね完了し暫定供用を開始。 ・残工事の早期完了と施設の完全供用開始により集客・利用増進効果が期待される。	国庫補助の減額配分のため事業期間の遅延を招いたが、愛知県と協働した事業計画の推進により遅延を最低限の1年に止め、平成26年度の完了を見込んで事業を推進する。	当初予定の事業について平成26年度完了を目指す。
	40301050		19,684,405	1	都市建設部 土木課			
			6,178,714	2	大羽 剛志			
	伊良湖周辺整備事業		28,444,153	3	普通			
			26,079,905	4	普通			
		2,364,248	5	普通	改善の効果	高い		
24	港湾・河川・海岸の整備	排水能力不足による水害の発生を防ぐため、住民の生命・財産を守るうえで重要な河川を優先して整備する。	42,391,078	事務事業評価		河川法の点検・維持・修繕の義務化に基づく施設管理が必須となっている。	高潮による水害防止対策、未整備堤防の崩壊箇所護岸設置など治水・防災機能の向上を図った。	主要地方道との交差河川について愛知県整備に連動して整備を進めるとともに、治水・防災対策としての河川改良を計画し事業推進する。
	40302010		38,274,910	1	都市建設部 土木課			
			4,116,168	2	大羽 剛志			
	河川改良事業		32,591,201	3	高い			
			26,088,050	4	高い			
		6,503,151	5	普通	改善の効果	極めて高い		
25	港湾・河川・海岸の整備	大雨等による災害を未然に防ぐため、土水路及び断面不足の水路を新設及び改良することにより、排水機能の向上を図る。	13,144,232	事務事業評価		地域の要望を基に現場の状況を確証的的確な対策を講じる必要がある。	地域からの要望に応え、土水路の施設整備を推進するなど排水機能の改善に努めた。	台風などによる過去の被害箇所や地域からの要望を検証し、緊急度及び必要性の高い水害防止対策を推進する。
	40302020		10,208,531	1	都市建設部 土木課			
			2,935,701	2	大羽 剛志			
	水路改良事業		8,526,428	3	高い			
			6,468,197	4	高い			
		2,058,231	5	普通	改善の効果	高い		
26	港湾・河川・海岸の整備	洪水、高潮等による水害を防止して河川が適正に利用され、流水の正常な機能を維持し、河川環境の整備と保全がされるようにこれを総合的に管理する。	7,816,678	事務事業評価		樋門操作マニュアルを活用し、委託者へ周知徹底するとともに、職員へも操作研修を行い、適切な管理体制、災害時に迅速な対応ができるよう努める。	樋門操作マニュアルを活用し、適切な管理体制、災害時に迅速な対応ができるよう努めた。	樋門操作については引き続き、職員と委託者との連携を密にし、災害時に迅速な対応ができるよう努める。
	40303010		3,616,556	1	都市建設部 土木課			
			4,200,122	2	大羽 剛志			
	河川管理事務		5,781,948	3	高い			
			1,792,406	4	高い			
		3,989,542	5	高い	改善の効果	高い		
27	港湾・河川・海岸の整備	市管理河川及び排水路の護岸や法面等の修繕及び堆積した土砂の浚渫又は草刈り等を行い、災害を未然に防ぐとともに、河川環境の保全を図る。	24,184,629	事務事業評価		危険箇所を早期に発見するため、河川パトロールを継続実施すると共に、効率的な修繕のため、関係課及び地元自治会等との連携を強化する。	修繕箇所の早期発見のため、担当職員以外に雨天時に道路維持囃託員による道路パトロールを実施した。通勤等において、危険箇所が確認された場合の報告をワークボックスで職員に依頼した。	危険箇所の早期発見のため、河川パトロールを継続実施すると共に効率的な修繕のため、関係課及び地元自治会等との連携を図る。
	40303020		12,445,914	1	都市建設部 維持管理課			
			11,738,715	2	大羽 清一			
	河川維持事業		23,705,134	3	高い			
			16,267,812	4	高い			
		7,437,322	5	普通	改善の効果	高い		
28	港湾・河川・海岸の整備	市管理河川及び排水路の護岸や法面等の修繕及び堆積した土砂の浚渫又は草刈り等を行い、災害を未然に防ぐとともに、河川環境の保全を図る。	11,660,820	事務事業評価		危険箇所の早期発見のため、河川パトロールの強化が必要である。	危険箇所の早期発見のため、雨天時及び水曜日に囃託員による河川パトロールを実施した。	河川パトロールの強化及び危険箇所の効率的な修繕のため、関係課・自治会等との調整を図る。
	40303040		5,663,200	1	渥美支所 地域課			
			5,997,620	2	鈴木 義治			
	河川維持事業(渥美支所)		15,379,744	3	高い			
			9,989,542	4	高い			
		5,390,202	5	普通	改善の効果	高い		

No	施策名		事務事業の目的	H24決算額(円)		事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成25年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成26年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード	事務事業名		内 直接事業費	1	担当部課名				
29	40304010	港湾・河川・海岸の整備 海岸管理事業	津波、高潮などによる被害を防止するために樋門等の操作を地元と協力して行うとともに、海岸環境の整備保全に努め海岸の適正な利用が行われるように総合的に管理する。	8,059,495	事務事業評価		樋門操作マニュアルを活用し、委託者へ周知徹底するとともに、職員へも操作研修を行い、適切な管理体制、災害時に迅速な対応ができるよう努める。また、赤羽根コバークについては、市嘱託員とシルバー人材センターで作業範囲を調整しながら行うことでコスト削減に努めた。	樋門操作マニュアルを活用し、適切な管理体制、災害時に迅速な対応ができるよう努めた。また、赤羽根コバークについては、市嘱託員とシルバー人材センターで作業範囲を調整しながら行うことでコスト削減に努めた。	改善の効果	高い
				3,616,766	1	都市建設部 土木課				
				4,442,729	2	大羽 剛志				
				6,935,731	3	高い				
				3,666,832	4	高い				
30	40402030	福江地区まちづくり事業	・福江市街地のレクリエーション活動の場、生活環境及び安全性等都市機能の向上を図る都市公園等の整備を行う。 ・拠点の市民館を中心に地域の活性化を図るため、検討及び施設整備を行う。	9,084,192	事務事業評価		本年度より、5か年計画で福江・清田地区の都市再生整備計画を立上げ、市街地拠点の1つとしてふさわしい、多彩なにぎわいのあるまちづくりを目指し市民と協働で整備を進めて行く必要がある。	公園整備に向け、1件残っていた補償物件の撤去が完了した。	改善の効果	高い
				5,488,717	1	都市建設部 街づくり推進課				
				3,595,475	2	柴田 高宏				
				8,465,246	3	高い				
				4,077,282	4	高い				
31	40402050	セントファール地下駐車場等運営事業	セントファール内の公共駐車場及び共用部において、利用者が便利かつ安全に利用できるように運営、維持管理を行う。	26,641,112	事務事業評価		・利用者が便利かつ安全に利用できるように運営、維持管理を行う必要がある。 ・慢性的に駐車場が足りないのが現状である。	・利用者の快適性の維持と向上につながるよう、運営と維持管理に取り組んだ。 ・駐車場不足の問題は解決できていない。	改善の効果	普通
				24,389,442	1	都市建設部 街づくり推進課				
				2,251,670	2	柴田 高宏				
				29,500,673	3	高い				
				25,942,261	4	高い				
32	40403020	浦片地区土地区画整理関連事業	浦町、片浜町地内で進められている田原浦片土地区画整理事業について、市民協働によるまちづくりの理念の下、施行者の田原浦片土地区画整理組合に対し、運営指導、事業支援を行うとともに、関連道路、水路及び公園等の整備を行う。	60,311,051	事務事業評価		住宅系では、保留地購入者等が住宅を建築し、住み始めているため防犯灯や公園整備を早急に行い、住みよい生活環境を提供する必要がある。	大原西西畑線に関する用地交渉を予定通りの期間で終えることができた。	改善の効果	高い
				52,637,530	1	都市建設部 街づくり推進課				
				7,673,521	2	柴田 高宏				
				269,139,790	3	高い				
				256,571,880	4	高い				
33	40403030	土地区画整理組合支援事業(40403010, 40403030)	市民協働による市街化区域の都市基盤の形成を行うにあたり、総合的かつ面的に整備する手法である土地区画整理事業を促進するため、田原市組合施行土地区画整理事業助成方針(助成方針)に基づき、現在施行中の浦片地区の健全な組合運営、計画中の地区の組合設立準備に対し支援を行う。	103,756,871	事務事業評価		・概ね工事が終わり、H26.4.1使用収益開始。 ・平成25年4月から保留地販売を開始した。住宅系は、36区画中29区画販売することができたが、企業系用地は1区画も販売できていない状況である。	消費税増税前の需要をつかまえるため、予定より1年早く販売開始をした。	改善の効果	高い
				84,391,671	1	都市建設部 街づくり推進課				
				19,365,200	2	柴田 高宏				
				161,207,319	3	高い				
				149,525,519	4	高い				
34	40501010	農村振興総合整備事業(40501010~40501040)	農村の総合的な振興を図るため、農業生産基盤の整備を行う。また、これと関連をもつ農村の基礎的な生活環境の整備を総合的に実施し、活力と個性のある地域づくりを目指すため、道路、排水路、防災施設及び自然環境・生態系保全施設整備等を行う。	78,266,998	事務事業評価		農村集落内の道路、排水路の整備を実施しているが、交付金等の減額により事業の進捗が遅れている。	地域住民の要望を把握して事業実施をした。	改善の効果	普通
				62,955,795	1	産業振興部 農政課				
				15,311,203	2	石川 恵史				
				81,220,601	3	普通				
				67,141,692	4	普通				
35	40502010	東部太平洋岸総合整備促進事業	田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会の事業運営を支援し、海岸侵食対策、自然環境の保全と活用、農地の基盤整備、農村環境の改善などについて関係地域の総合的な課題解決を図る。	2,704,387	事務事業評価		表浜自然ふれあいフェスティバル開催支援、県への要望活動、谷ノ口総合整備促進協議会の活動支援を行う。 ・当初の基本計画(平成10年3月策定)を社会状況等に沿ったものに見直し、今後の展開を検討する必要がある。	表浜自然ふれあいフェスティバル開催にあわせ、拠点施設である表浜ほうべの森公園のPRを行った。さらには、県への要望活動、谷ノ口総合整備促進協議会の活動支援を行った。	改善の効果	普通
				450,000	1	政策推進部 政策推進課				
				2,254,387	2	富田 昌義				
				2,558,715	3	高い				
				450,000	4	普通				
2,108,715	5	普通								

No	施策名	事務事業の目的	H24決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成25年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成26年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1 担当部課名				
	事務事業名		H25決算額(円)	事務事業評価				
			内 人件費	2 評価責任者氏名				
			内 直接事業費	事務事業評価				
			内 人件費	3 妥当性評価	4 有効性評価			
				5 効率性評価				
36	地域・住環境の整備	少子高齢化・人口減少社会に対応した居住環境の整備を図るとともに、公的宅地の供給や空き家・空き地バンク制度の活用による市内への定住を誘導し、安全で住みやすいまちづくりを進める。	21,183,133	事務事業評価		・空き家・空き地バンク制度で住居を求める方に対し紹介できる登録物件が少ない。 ・制度PRを行い登録物件を増やし、制度を有効に活用してもらえるよう利用者を増やす。	広報たはら、専用ホームページ等の広告媒体を利用して制度周知、利用啓発を実施した。	効果的な周知方法の検討を行い、本制度を有効活用してもらえるよう啓発活動をしていく。また、物件所有者に対し直接制度の周知や登録を推進していく。
	40503010		2,170,006	1 都市建設部 建築課				
	19,013,127		2 岡田 利幸					
	39,828,427		3 高い					
	26,053,583		4 普通					
13,774,844	5 普通							
				改善の効果	普通			
37	地域・住環境の整備	・住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な市営住宅を供給し、市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与する。 ・特定公共賃貸住宅、若者向け住宅など良質な賃貸住宅を求める中堅所得者層に住宅を供給し、市民生活の向上を図る。 ・市営住宅の入居者の居住の安定と水準の向上を図る。	88,989,482	事務事業評価		・昨今の経済状況、少子高齢化による低所得、母子、高齢者の住宅需要に対し、市営住宅の果たす役割は大きい。 ・家賃滞納について、現年度の滞納額を減らし、滞納繰越しを増やさないようにするために、滞納者に納付意識を持ってもらうことが必要である。	督促状による通知、また滞納者への戸別訪問、電話、文書による催告を実施し滞納額縮減に努めた。	家賃は期限内で納付するよう誘導し、滞納繰越分については計画的納付を促す。 悪質滞納者へは法的措置も視野に入れた納付指導を継続して実施していく。
	40503020		68,650,973	1 都市建設部 建築課				
	20,338,509		2 岡田 利幸					
	116,878,113		3 高い					
	88,252,778		4 普通					
28,625,335	5 普通							
				改善の効果	高い			
38	地域・住環境の整備	田原市人にやさしい街づくり推進計画に沿い、高齢者及び障害を持つ人を含む全ての人にやさしい、バリアフリーの街づくりを推進することにより、超高齢化社会の安心・安全なまちづくりを目指す。	5,445,790	事務事業評価		・公共施設のバリアフリー化は現在ファシリティマネジメントの計画を検討しながら進めている。 ・市民のバリアフリーについての意識は高齢化に伴って向上していると思われるが、まだ、充分ではない。	・公共施設のバリアフリー化は田原市渥美運動公園総合体育館人にやさしい街づくり整備工事(EV設置は除く)の施行。 ・バリアフリー意識の向上は5市連携人にやさしい街づくり講座及びセミナーの田原市開催。	・市内公共施設の人にやさしい街づくり整備工事。 ・5市連携人にやさしい街づくり講座及びセミナーへの参加。 ・人にやさしい街づくり歩行空間ネットワーク計画策定(駅周辺)。 ・人にやさしい街づくり推進計画改訂。
	40504010		3,607,053	1 都市建設部 建築課				
	1,838,737		2 岡田 利幸					
	14,194,931		3 極めて高い					
	10,797,469		4 普通					
3,397,462	5 普通							
				改善の効果	普通			
39	上下水道の整備	給水装置の新設及び改良に伴う配水管の新設及び改良工事の施工に対し、材料を支給することにより水道施設の充実を図る。	8,602,765	事務事業評価		水道新規加入等に伴い、配水管工事を必要とする場合には、本管材料や分岐工材料を支給し、水道施設の充実を図る。	水道施設の充実を図るため水道新規加入者等が行う配水管工事に対し材料支給を実施した。	水道施設の充実を図るため支援等の拡充について検討していく。
	40601010		6,598,024	1 水道部 水道課				
	2,004,741		2 山口 文隆					
	20,806,830		3 高い					
	18,076,651		4 高い					
2,730,179	5 普通							
				改善の効果	普通			
40	上下水道の整備	水道施設の維持、管理により安心、安全な水道水を安定的に供給する。	724,731,685	事務事業評価		・水道施設の保守点検管理、水質検査の実施、配水管等の漏水修繕による有収率の向上を図る。 ・施設管理等の効率化を図るとともに、漏水に対して早期発見、修繕に努める。	配水管等の漏水調査の実施及び漏水箇所の修繕の実施。	施設管理等の一部業務委託を行うとともに、老朽管の改修・漏水調査の実施・漏水管の早期改修を実施し、有収率向上に向けた事業に引き続き取り組んでいく。
	40601020		713,265,899	1 水道部 水道課				
	11,465,786		2 山口 文隆					
	714,462,276		3 極めて高い					
	698,652,033		4 高い					
15,810,243	5 普通							
				改善の効果	高い			
41	上下水道の整備	市民生活、産業活動の水需要に対し、安全な水を安定的に供給するため配水管の整備を図る。	110,941,421	事務事業評価		宅地造成事業区域等での配水管整備を図る。	関係機関(土地区画整理事業)との連携に基づく事業の実施。	新規事業等に対して関係機関との連絡調整等を引き続き図る。
	40601030		103,325,410	1 水道部 水道課				
	7,616,011		2 山口 文隆					
	58,268,492		3 高い					
	51,945,600		4 高い					
6,322,892	5 普通							
				改善の効果	高い			
42	上下水道の整備	安心、安全な水道水を安定的に供給するため、老朽管等の更新を図る。	717,649,640	事務事業評価		配水管更新計画に従い老朽管の更新を図るとともに、公共下水道事業等の工事に併せて配水管の整備・更新を図る。	公共下水道事業、農業集落排水事業との同時施工により工事の効率化及びコストの削減を実施した。	引き続き工事の効率化やコストの削減を図るとともに、単独工事の施工により、地区及び市全域での管路の整備を図る。
	40601040		699,629,775	1 水道部 水道課				
	18,019,865		2 山口 文隆					
	825,143,797		3 高い					
	806,292,930		4 高い					
18,850,867	5 普通							
				改善の効果	高い			

No	施策名	事務事業の目的	H24決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成25年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成26年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)	
	事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名	内 人件費	2	評価責任者氏名				H25決算額(円)
事務事業名				内 直接事業費	4	有効性評価						
				内 人件費	5	効率性評価						
50	上下水道の整備	市街地の雨水を排除し浸水被害の防除を図るため、雨水ポンプ場、雨水幹線、雨水貯留施設等の雨水施設の整備を行う。	0	事務事業評価					雨水排水の放流先となる河川等が、潮位により高水位となるため、高潮位時においても十分な排水能力を持った施設の整備が必要とされる。	渥美排水区域における雨水排水全体計画の見直しを行い、今後の整備に向けての基本計画を策定した。	雨水排水全体計画に基づき、施設整備の実施に向けた取組を行う。	
	40603090		0	1	水道部 下水道課	0	2	山内 義晃				
	渥美排水区雨水排水施設整備事業		5,020,204	3	極めて高い	3,118,500	4	極めて高い				
			1,901,704	5	極めて高い			改善の効果				極めて高い
51	上下水道の整備	公衆衛生の向上と水質保全を図るため、夕陽が浜汚水処理施設の維持管理を行う。	5,736,459	事務事業評価					・宅地分譲が計画通りに進んでおらず、下水道使用料の増収が望める状況ではない。 ・施設の老朽化による機器の更新及び改良が必要である。	設備機器の計画的な維持管理を実施し、施設の機能を保持できた。	・施設の劣化が進んできているため、計画的に修繕・工事等を行いながら、公共下水道への統合を検討し、維持管理経費の削減を図る。 ・建築課へ夕陽が浜宅地分譲の推進を依頼する。	
	40604010		4,722,972	1	水道部 下水道課	1,013,487	2	山内 義晃				
	夕陽が浜汚水処理施設維持管理事業		6,607,585	3	極めて高い	5,744,129	4	高い				
			863,456	5	高い			改善の効果				高い
52	上下水道の整備	・排水設備等資金の融資のあっせん及び利子補給を行うことにより、公共下水道への接続推進を図る。 ・公共下水道への接続で不用となる浄化槽を雨水貯留施設に転用する費用を補助することにより、水資源の有効活用や公共下水道の普及促進に寄与する。	438,915	事務事業評価					制度が周知されておらず、新規の申し込みが少ない。	新規供用開始対象者に制度の案内をし、利用の促進を図った。また、指定工事店にも制度について、理解を深めてもらい接続する時に制度の紹介を依頼した。	広報、ホームページに掲載及び説明会等により、市民に制度の周知徹底を図る。	
	40604030		233,782	1	水道部 下水道課	205,133	2	山内 義晃				
	雨水貯留施設等整備支援事業(公共下水道)		164,896	3	普通	119,536	4	普通				
			45,360	5	普通			改善の効果				普通
53	上下水道の整備	公共下水道事業の適正かつ健全な運営を行う。	55,174,015	事務事業評価					・負担金等賦課事務、未接続者への接続の推進事務、負担金等の滞納整理事務など、整備が進むにつれて処理すべき事務が山積みとなり、今後組織の体制強化が必要である。 ・限られた人員で事務を効率的に実行する必要がある。	・処理場・ポンプ場等を対象に、想定津波による被害と対策について検討した。 ・未接続者の調査及び接続の推進、負担金等の滞納整理事務を推進した。	・施設について、津波対策・長寿命化計画等を策定し、計画的に維持管理(工事・修繕等)を行っていく必要がある。 ・地方公営企業法を適用させ、経営内容を明確化することにより、事業経営の健全性を確保し、経営基盤の強化を図る。	
	40604040		36,171,811	1	水道部 下水道課	19,002,204	2	山内 義晃				
	公共下水道運営事業		57,696,760	3	高い	41,019,080	4	高い				
			16,677,680	5	普通			改善の効果				高い
54	上下水道の整備	雨水の適正な排除を行うため、雨水ポンプ場及び雨水排水路等の維持管理を行う。	30,984,571	事務事業評価					・施設の老朽化による機器の更新及び改良が必要である。 ・機器の計画的な更新改良により、機器の延命化を図り、施設の機能を維持していく必要がある。 ・雨水時に速やかな対応をする必要がある。	設備機器の計画的な維持管理を実施し、施設の機能を保持できた。	施設の老朽化が進む中、計画的な整備機器の更新改良が必要である。また、設備機器の延命化を図り、施設の機能を維持し、適正な管理に努め、故障等による事故及び浸水による被害を未然に防ぐ。	
	40604060		26,525,909	1	水道部 下水道課	4,458,662	2	山内 義晃				
	雨水排水施設維持管理事業		38,824,557	3	極めて高い	35,009,889	4	高い				
			3,814,668	5	高い			改善の効果				普通
55	上下水道の整備	生活環境の向上や公共用水域の水質保全を図るため、下水道施設の適正な維持管理を行う。	232,699,695	事務事業評価					年々施設の劣化が進むなかで、恒久的・持続的に維持管理を行い、事業目的を達成するためには、維持管理・修繕に多大な経費が必要である。汚泥の燃料化を検討している。接続の推進により、下水道使用料の増収が急務であるが、現状では十分な体制が整っておらず、今以上の体制強化が必要である。	・設備機器の計画的な維持管理を実施し、施設の機能を保持できた。 ・包括的民間委託により、適切に管理された。	・平成28年度に第2期包括的民間委託が終わるため、第3期に向けて現状の課題等を整理し、より適正な維持管理できるように努める。 ・維持管理費の削減について、汚泥燃料化の検討・実現を目指す。	
	40604070		224,880,609	1	水道部 下水道課	7,819,086	2	山内 義晃				
	汚水処理施設維持管理事業		234,046,597	3	極めて高い	227,552,505	4	高い				
			6,494,092	5	高い			改善の効果				高い
56	上下水道の整備	農村地域の住環境の整備とともに公共用水域の水質改善を図るため、市内農村地域の生活排水整備を計画的に行う。	577,059,030	事務事業評価					・泉北部地区の管路工事が完了したが、舗装本復旧がされていない箇所があるため、早期の完成を図る。 ・中山地区の管路工事、処理場工事を進め、早期の供用開始を目指す。 ・未整備地区の整備手法・方針を決定する必要がある。	汚水処理施設整備交付金、国の緊急経済対策を積極的に活用し、泉北部地区のほぼ全域が供用可能となった。また、中山地区についても、予定を上回る区域の整備が行われた。	・中山地区の管路、処理施設の整備を進め、中山地区全体の早期供用開始を目指す。 ・亀山、西山地区の汚水処理について、計画を策定する。 ・白谷地区の農業集落排水施設の機能強化を図る。	
	40605030		547,086,749	1	水道部 下水道課	29,972,281	2	山内 義晃				
	農業集落排水施設整備事業		1,306,481,602	3	極めて高い	1,278,568,173	4	極めて高い				
			27,913,429	5	極めて高い			改善の効果				極めて高い

No	施策名	事務事業の目的	H24決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成25年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成26年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1 担当部課名				
	事務事業名		H25決算額(円)	事務事業評価				
			内 人件費	2 評価責任者氏名				
			内 直接事業費	3 妥当性評価				
			内 人件費	4 有効性評価				
				5 効率性評価				
57	上下水道の整備	・排水設備等資金の融資のあっせん及び利子補給を行うことにより、集落排水への接続推進を図る。 ・集落排水への接続で不用となる浄化槽を雨水貯留施設に転用する費用を補助することにより、水資源の有効活用や集落排水の普及促進に寄与する。	315,442	事務事業評価		制度が周知されておらず、新規の申し込みが少ない。	平成25年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成26年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3~5年程度をイメージ)
	40606020		11,792	1	水道部 下水道課			
			303,650	2	山内 義晃			
	雨水貯留施設等整備支援事業(集落排水)		237,607	3	普通			
			4,235	4	普通			
		233,372	5	普通				
							改善の効果	普通
58	上下水道の整備	事業経営の安定化に向け、農業集落排水の接続を推進すること等により財源の確保を図り、農業集落排水事業の適正かつ健全な管理運営を行う。	24,172,789	事務事業評価		分担金や使用料の賦課徴収、排水設備の確認、決算統計、消費税申告等の経常的な業務であり、限られた人員で効率的に実行する必要がある。	平成25年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成26年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3~5年程度をイメージ)
	40606030		7,363,333	1	水道部 下水道課			
			16,809,456	2	山内 義晃			
	農業集落排水運営事業		28,528,733	3	高い			
			15,134,912	4	高い			
		13,393,821	5	普通				
							改善の効果	普通
59	上下水道の整備	農業集落における生活環境の向上や農地及び公共用水域の水質保全を図るため、農業集落排水施設の適正な維持管理を行う。	234,211,611	事務事業評価		・維持管理や修繕に多大な経費が掛かっている。 ・汚泥について、減量化や農地還元処理のあり方を検討する必要がある。	平成25年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成26年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3~5年程度をイメージ)
	40606040		218,422,891	1	水道部 下水道課			
			15,788,720	2	山内 義晃			
	農業集落排水施設維持管理事業		235,567,690	3	高い			
			225,024,466	4	高い			
		10,543,224	5	普通				
							改善の効果	普通
60	上下水道の整備	生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、未水洗化世帯及び事業所等のし尿の収集を行う。	13,755,011	事務事業評価		・し尿収集業務は市民生活に不可欠であるため、引続き円滑に実施していく。 ・収集世帯等及び収集量の減少は今後も避けられないため、業務の集約化と効率性が重要である。	平成25年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成26年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3~5年程度をイメージ)
	40607010		1,701,757	1	水道部 下水道課			
			12,053,254	2	山内 義晃			
	し尿収集事業		11,614,163	3	普通			
			1,446,456	4	普通			
		10,167,707	5	普通				
							改善の効果	普通
61	上下水道の整備	し尿収集業務の適正かつ健全な運営を図るため、し尿汲取手数料及び浄化槽汚泥投入手数料の徴収に努める。	3,664,932	事務事業評価		収納率の維持を図るため、口座振替制度の周知及び未納通知書の発送を行っている。	平成25年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成26年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3~5年程度をイメージ)
	40607020		93,017	1	水道部 下水道課			
			3,571,915	2	山内 義晃			
	し尿収集業務運営事業		5,056,816	3	普通			
			147,802	4	普通			
		4,909,014	5	普通				
							改善の効果	普通
62	上下水道の整備	し尿及び浄化槽汚泥を適正に処理することにより、生活環境及び水質環境の保全を図る。	55,798,151	事務事業評価		・施設の老朽化及びし尿等の処理量は減少しており、処理方法や維持管理での問題がある。 ・公共下水道等の汚泥処理と併せた処理方法を検討する必要がある。	平成25年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成26年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3~5年程度をイメージ)
	40607030		30,182,711	1	水道部 下水道課			
			25,615,440	2	山内 義晃			
	し尿処理施設運営事業		68,778,171	3	高い			
			41,493,624	4	高い			
		27,284,547	5	普通				
							改善の効果	普通
63	自然環境の保全	市民との協働により、里山等の利活用推進のため、市民が里山保全に関する知識・技能の習得の場として、里山保全アドバイザー養成講座修了者等で構成される「たはら里山の会」等市民活動とも連携して、地域の里山保全活動の支援を行う。	11,742,752	事務事業評価		・里山保全アドバイザースキルアップ研修会の開催。 ・里山保全活動団体の自立、人材の育成。	平成25年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成26年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3~5年程度をイメージ)
	40701010		6,143,644	1	都市建設部 街づくり推進課			
			5,599,108	2	柴田 高宏			
	里山保全推進事業		4,076,567	3	高い			
			137,705	4	高い			
		3,938,862	5	普通				
							改善の効果	普通

No	施策名	事務事業の目的	H24決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成25年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成26年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1 担当部課名				
	事務事業名		H25決算額(円)	事務事業評価				
			内 人件費	2 評価責任者氏名				
			内 直接事業費	3 妥当性評価				
			内 人件費	4 有効性評価				
				5 効率性評価				
64	自然環境の保全	林道は、森林保全整備のために不可欠な道路であるとともに、昨今は地域住民が散策路として利用するなど地域に必要な道路となっている。しかし、山中の道路は破損等が生じやすいため、常に適正で良好な状態を維持することを目的として、整備や補修等を行う。	8,880,121	事務事業評価		・アスファルト舗装などの改修を施工し、洗掘被害を防止する。 ・草刈り業務を行い、利用者の利便性や安全性の確保を図る。 ・県費補助金が減額されており、事業の進捗が遅延している。	・林道衣笠線において、事業の進捗を図った。 ・再生アスファルトを使用し、経費の削減を図った。	県補助金をより多く確保できるよう調整し、事業の早期完了を目指す。
	40701020		6,851,215	1	産業振興部 農政課			
			2,028,906	2	石川 恵史			
	林道整備事業		9,648,443	3	極めて高い			
			6,207,477	4	極めて高い			
		3,440,966	5	高い	改善の効果	高い		
65	自然環境の保全	本市の松林は、潮害防備、風害防備等多面的な機能を担っている。この松林を保全するため、松くい虫防除対策として薬剤空中散布及び伐倒駆除を実施するとともに、薬剤樹幹注入を行い松の抵抗力を高めることで保安林の再生や機能維持を図る。	74,922,740	事務事業評価		・松くい虫被害の拡大防止のため、迅速な防除事業を施行する。(薬剤空中散布業務、立木駆除業務、薬剤樹幹注入業務) ・県補助金等が減額されており、単独費の負担が多くなっている。	・国の補助金を最大限に活用し、松くい虫防除事業に努めた。 ・被害木の破砕処理を経済的に実施し、コスト削減に努めた。	・松くい虫被害による被害木を迅速に伐倒処理することにより、被害の拡大が抑えられるように努める。 ・国の補助金を最大限に活用し、既存の事業と併せながら、計画的かつ効果的に防除事業を推進する。
	40701030		68,392,295	1	産業振興部 農政課			
			6,530,445	2	石川 恵史			
	森林病害虫防除事業		69,679,756	3	極めて高い			
			62,427,605	4	極めて高い			
		7,252,151	5	極めて高い	改善の効果	高い		
66	自然環境の保全	東三河地域の森林は、田原市のみならず豊川流域市町村の大切な財産である。この財産を流域市町全体で保全することを目的として、東三河農林水産事務所管内の森林振興にかかる諸活動(事業、調査、研修等)を行う。また、松くい虫によって枯死した地域の松林を復元するため、抵抗性松を配布する。	15,144,259	事務事業評価		・抵抗性松を地域に配布し、松くい虫被害などで松がなくなってしまった地区に植樹をしてもらい、森林の復元を行った。 ・抵抗性松は全国的に需要があり、必要本数の確保が難しい。	・抵抗性松の植樹については、地元の協力を得て事業を実施し、さらには小学校との連携を図り、児童の記念植樹として事業を行ない、費用軽減に努めた。	・地域の要望に応えられるよう抵抗性松の確保に努め、森林の早期復元に努める。 ・松林の植生調査をし、健全な森林環境のより効果的な保全管理方法を調査する。
	40701040		12,770,580	1	産業振興部 農政課			
			2,373,679	2	石川 恵史			
	森林整備促進事業		16,410,710	3	極めて高い			
			14,322,169	4	極めて高い			
		2,088,541	5	極めて高い	改善の効果	高い		
67	自然環境の保全	動植物の保全を図るため、動植物の保護、育成及び調査を行う。	1,208,570	事務事業評価		アカウミガメの保護団体が行う保護・調査活動の支援、ESDユネスコ世界会議開催に伴う啓発活動等を実施。	アカウミガメの保護活動を実施している市民団体の調査員に謝礼金を支出し、経年資料となる上陸・産卵頭数を把握することができた。	平成26年度以降も、アカウミガメの保護活動に継続的支援を続ける。
	40702010		438,617	1	市民環境部 環境政策課			
			769,953	2	菟田 好祐			
	動植物保全事業		1,854,940	3	高い			
			457,630	4	高い			
		1,397,310	5	普通	改善の効果	高い		
68	自然環境の保全	野生鳥獣による生活環境、農林水産業や生態系への被害を防止するため、有害鳥獣の捕獲、有害植物の駆除等を行う。	6,279,211	事務事業評価		・田原市猟友会に有害鳥獣捕獲業務を委託し、イノシシ等の有害鳥獣捕獲を実施。 ・イノシシ等による農作物被害等を防止するため、電気柵等の設置費用として、有害鳥獣対策費補助金(補助率2分の1、限度額10万円)を交付しているが、利用件数が低下しており継続的な周知が必要である。	・継続的な捕獲によりイノシシ等有害鳥獣の駆除を実施した。 ・イノシシ対策協議会を開催し、イノシシ対策についての認識共有を図った。	行政と猟友会だけでなく、自治会と地域住民が協力して有害鳥獣捕獲に取り組むことで、一層の被害防止を図る。
	40702020		3,069,333	1	市民環境部 環境政策課			
			3,209,878	2	菟田 好祐			
	有害生物対策事業		5,682,150	3	極めて高い			
			2,569,495	4	高い			
		3,112,655	5	普通	改善の効果	高い		
69	自然環境の保全	生活環境の保全を図るため、特定外来生物を駆除し、その生息域の拡大を防止する。	11,047,681	事務事業評価		・田原市アルゼンチンアリ対策協議会への補助金の交付。(補助率10分の10) ・自治会、地域住民、行政が一体となって一斉防除等を実施し、個体数の低減が図られているが、根絶には至っていない。	・協議会によるアルゼンチンアリの一斉防除等を実施し、生活環境被害の低減、生息域の拡大抑制等の効果が確認された。 ・モデル地区での実証試験結果により、今後の方向性が示された。	現在の防除方法では、住宅への侵入被害の低減や生息域拡大の抑制が認められているが、今後は更なる防除方法の改良により、生息域の分断、縮小を目指す。
	40702030		6,799,090	1	市民環境部 環境政策課			
			4,248,591	2	菟田 好祐			
	特定外来生物駆除事業		12,306,904	3	高い			
			6,977,778	4	高い			
		5,329,126	5	普通	改善の効果	高い		
70	緑と景観の保全	市民の緑化への関心を高めるとともに、市民との協働により市内の緑化を推進し、うるおいと活力のあるガーデンシティを目指す。	20,080,244	事務事業評価		市民緑花まつりの開催手法の検討と各校区での緑化推進体制の強化。	市民緑花まつり実行委員会を設立、委員会によるイベントの運営実施。	・市民緑花まつりの開催手法、場所等の検討。 ・各校区における奨励花壇、沿道花壇設置数を増加させることで、緑花推進を図る。
	40802010		8,810,885	1	都市建設部 街づくり推進課			
			11,269,359	2	柴田 高宏			
	緑化推進事業		19,741,054	3	高い			
			8,376,623	4	高い			
		11,364,431	5	普通	改善の効果	高い		

No	施策名	事務事業の目的	H24決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成25年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成26年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)				
	事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名	内 人件費	2	評価責任者氏名				H25決算額(円)	3	妥当性評価	内 直接事業費
71	緑と景観の保全 40802020	緑花センターにおいて奨励花壇、沿道花壇、公共花壇に植える花苗を生産し、うるおいと活力のあるガーデンシティを目指し、花いっぱい運動を展開する。	32,468,151	事務事業評価					・緑化推進、花いっぱい運動の推進拠点として、体制整備が必要。 ・花壇管理者への花苗用ポット鉢、トレイ返却のさらなる徹底。	声かけにより、花壇管理者からの鉢、トレイ返却が徹底がされた。	緑花センターでの緑化相談員、相談窓口の設置にむけた組織体制の検討。				
	13,179,739		1	都市建設部 街づくり推進課											
	19,288,412		2	柴田 高宏											
	30,314,607		3	高い											
	11,239,164		4	高い											
	19,075,443	5	普通	改善の効果	普通										
72	緑と景観の保全 40803010	田原市の将来像である「うるおいと活力のあるガーデンシティ」にふさわしい都市機能の中核をなす運動公園の形成を目指し、市民の余暇活動、スポーツ施設の需要に対するスポーツ、レクリエーション活動の場として整備を図る。	10,371,029	事務事業評価					園路及び植樹整備を進めてきたが、施設計画については有効活用に向けた見直しが必要である。	施設計画の見直しに伴い、暫定利用計画を検討。	公園用地を有効に活用するため、暫定利用整備を進める。				
	8,598,015		1	都市建設部 街づくり推進課											
	1,773,014		2	柴田 高宏											
	32,595,126		3	高い											
	28,341,510		4	高い											
	4,253,616	5	普通	改善の効果	高い										
73	緑と景観の保全 40803030	太平洋岸総合整備促進事業のモデル事業として、総合計画、表浜自然ふれあいガーデン整備に関する報告書及びええZONEガーデン整備計画に位置づけした拠点の整備促進を図る。また、三河湾国定公園内の豊かな自然の中で快適な野外レクリエーション活動を行える場を提供すると共に都市と農村の交流の場として地域の活性化を図る。	40,641,141	事務事業評価					造成工事はほぼ完了し、広場としての形は出来たことにより、地元主催の里山イベント等を開催している。今後、供用開始に向け地元の公園管理体制の確立及び、公園のPRが必要である。	イベントを年間3回程度開催することで、イベントリピーターを増やすことができた。	管理棟(研修室・多目的ホール)及び炊事棟などの施設整備を進め、施設全体の汎用を拡大し、活用を図る。				
	35,659,727		1	都市建設部 街づくり推進課											
	4,981,414		2	柴田 高宏											
	27,587,294		3	高い											
	23,505,794		4	高い											
	4,081,500	5	普通	改善の効果	高い										
74	緑と景観の保全 40804010	滝頭公園の維持管理を委託し、民間の能力を活用することによる管理経費の削減と、利用者が安全で安心して楽しく利用できるように施設管理を行う。	21,132,177	事務事業評価					市民が安心・安全で楽しく利用できる公園を目指し、適正な管理を行う。	市民が安心・安全で楽しく利用できる公園を目指し、老朽化した遊具(ローラー滑り台)の取替及び展望デッキの取替工事を行った。	市民が安心・安全で楽しく利用できる公園を目指し、適正な管理を行う。				
	20,214,003		1	都市建設部 維持管理課											
	918,174		2	大羽 清一											
	23,269,057		3	高い											
	21,298,449		4	高い											
	1,970,608	5	高い	改善の効果	高い										
75	緑と景観の保全 40804020	白谷海浜公園の維持管理を委託し、民間の能力を活用することによる管理経費の削減と、利用者が安全で安心して楽しく利用できるように施設管理を行う。	19,983,625	事務事業評価					市民が安心・安全で楽しく利用できる公園を目指し、適正な管理を行う。	・市民が安心・安全で楽しく利用できる公園を目指し、老朽化した施設の修繕を行った。 ・照明灯の修繕を行い利用者の利便性を図った。	市民が安心・安全で楽しく利用できる公園を目指し、適正な管理を行う。				
	19,065,451		1	都市建設部 維持管理課											
	918,174		2	大羽 清一											
	22,433,811		3	高い											
	19,970,551		4	高い											
	2,463,260	5	高い	改善の効果	高い										
76	緑と景観の保全 40804030	緑が浜公園及び緑が浜2号緑地の維持管理を委託し、民間の能力を活用することによる管理経費の削減と、利用者が安全で安心して楽しく利用できるように施設管理を行う。	14,490,693	事務事業評価					市民が安心・安全で楽しく利用できる公園を目指し、老朽化した施設(2号緑地整備工事)の修繕を行った。緑が浜2号緑地の東屋修繕工事を行い利用者の利便性を図った。	市民が安心・安全で楽しく利用できる公園を目指し、適正な管理を行う。					
	13,572,519		1	都市建設部 維持管理課											
	918,174		2	大羽 清一											
	18,247,621		3	高い											
	16,523,339		4	高い											
	1,724,282	5	高い	改善の効果	高い										
77	緑と景観の保全 40804040	中央公園(一部供用開始された施設)内の樹木管理、除草、排水施設の適正管理を図ることにより、利用者が安全で安心して利用できるように施設管理を行う。	2,785,200	事務事業評価					市民が安心・安全で楽しく利用できる公園を目指し、適正な管理を行う。	・市民が安心・安全で楽しく利用できる公園を目指し、公園内の除草を定期的に行なった。 ・供用開始されている施設は利用者が安全で安心して利用することが出来た。	市民が安心・安全で楽しく利用できる公園を目指し、適正な管理を行う。				
	1,066,978		1	都市建設部 維持管理課											
	1,718,222		2	大羽 清一											
	2,146,185		3	高い											
	1,013,085		4	普通											
	1,133,100	5	普通	改善の効果	普通										

No	施策名	事務事業の目的	H24決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成25年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成26年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名			
	事務事業名		内 人件費	2	評価責任者氏名			
			H25決算額(円)	3	妥当性評価			
			内 直接事業費	4	有効性評価			
			内 人件費	5	効率性評価			
78	緑と景観の保全 40804050	公園、緑地、緑道等について、樹木の管理、除草、トイレ清掃等を行い、利用者が安全で安心して利用できる施設管理を行う。	70,597,684	事務事業評価		公園の維持管理業務について、最小の経費で最大の効果が得られるように、環境美化対策も含め、ボランティア団体等との協働による創意工夫、活力導入を推進する。	公園内の維持管理業務について、最小の経費で最大の効果が得られるように、環境美化対策も含め、ボランティア団体等との協働による創意工夫、活力導入を推進した。 ・地域からの要望、苦情に対し、迅速な対応が出来た。	公園の維持管理業務について、最小の経費で最大の効果が得られるように、環境美化対策も含め、ボランティア団体等との協働による創意工夫、活力導入を推進する。
			38,019,864	1	都市建設部 維持管理課			
			32,577,820	2	大羽 清一			
			61,217,518	3	高い			
			37,235,392	4	高い			
			23,982,126	5	普通		改善の効果	高い
79	緑と景観の保全 40804060	愛知県から市に移管された初立池公園は、豊川用水の最終調整池(貯水量160万㎡)を含む自然豊かな公園であり、市民の余暇活動等の推進を図る施設として、安全で楽しく利用できるよう適正な管理を行う。	10,742,553	事務事業評価		公園は、四季の草花、渡り鳥等の観光スポットや近年の健康志向により、ジョギングやウォーキング等で市民や観光客が年間を通して訪れる憩いの場となっており、適正な維持管理が必要である。	公園利用者や地域の要望、苦情を基に花菖蒲園の委託先を変更し、散水施設の整備等適正な維持管理を図った。	公園の利用者や来訪者が、安心安全で快適に利用できるように老朽施設の改修を図るとともに、年間を通して花のある憩いと安らぎを提供できる公園をめざし、適正な維持管理に努める。
			5,539,704	1	渥美支所 地域課			
			5,202,849	2	鈴木 義治			
			17,756,027	3	高い			
			10,917,870	4	高い			
			6,838,157	5	普通		改善の効果	高い
80	緑と景観の保全 40804070	臨海緑地の維持管理を委託し、民間の能力を活用することによる管理経費の削減と、利用者が安全で安心して楽しく利用できるよう施設管理を行う。	32,915,409	事務事業評価		公害防止としての緩衝緑地の目的だけでなく、安心・安全で心にゆとりを与えられるような緑地を目指す。	公害防止としての緩衝緑地の目的だけでなく、安心・安全で心にゆとりを与えられるような緑地を目指す。指し、チップシュレッダにより枝葉をチップ化し、臨海緑地内に敷設した。	公害防止としての緩衝緑地の目的だけでなく、安心・安全で心にゆとりを与えられるような緑地を目指す。
			31,997,235	1	都市建設部 維持管理課			
			918,174	2	大羽 清一			
			33,672,252	3	普通			
			31,997,235	4	普通			
			1,675,017	5	普通		改善の効果	普通
81	緑と景観の保全 40804080	公園、緑地、緑道等について、樹木の管理、除草、トイレ清掃等を行い、利用者が安全で安心して利用できる施設管理を行う。	11,675,495	事務事業評価		前年度に対応ができなかった施設の修繕を含め、環境に配慮した公園の維持管理が必要である。	公園、緑地、緑道等について、樹木の管理、除草、トイレ清掃等を行い、公園の利用者が安心して利用できる施設管理を行った。	公園の維持管理業務について、最小の経費で最大の効果が得られるように、環境美化対策も含め、ボランティア団体等との協働による創意工夫、活力導入を推進する。
			2,046,773	1	渥美支所 地域課			
			9,628,722	2	鈴木 義治			
			14,708,654	3	高い			
			2,647,977	4	高い			
			12,060,677	5	普通		改善の効果	高い
82	緑と景観の保全 40804090	児童に身近で安全な遊びの場を提供し、健康の増進や豊かな情操を養うとともに、乳幼児を持つ保護者相互の交流の場づくり(孤立化防止)として、児童遊園の適正な維持管理を行う。	1,584,276	事務事業評価		安全第一の観点により危険度の高い遊具から優先的に修繕、撤去を実施するとともに、地域との協働による地域管理委託を継続して管理コストの抑制に努める。	危険度の高い遊具から優先的に修繕し、遊園利用における児童の安全確保を図ることができた。	安全第一の観点により危険度の高い遊具から優先的に修繕、撤去を実施するとともに、撤去により児童遊園として必要となる新規遊具の設置を検討する。
			736,848	1	健康福祉部 子育て支援課			
			847,428	2	彦坂 真			
			1,473,122	3	普通			
			881,940	4	普通			
			591,182	5	普通		改善の効果	普通